

研究課題名

侵入奇胎 MTX 筋注療法における口内炎の発生頻度とその予防対策の有効性に関する検討に関する情報公開

1. 研究の対象

2011年5月1日から2016年9月30日に当院で侵入奇胎の治療のためにメソトレキセート筋注療法を行った方

2. 研究目的・方法

【目的】侵入奇胎に対する治療の第一選択の1つとして、「日本婦人科腫瘍学会 子宮体癌治療ガイドライン」ではメソトレキセートの筋注療法が挙げられています。当院でもメソトレキセートの筋注療法が行われていますが、この治療では口腔粘膜炎が生じやすいことが知られています。

今回の研究は、侵入奇胎メソトレキセート筋注療法における口腔粘膜炎の発現頻度やその程度について調査し、また、治療薬としてステロイド外用剤の有効性について明らかにすることを目的としています。

【方法】2011年5月1日から2016年9月30日に当院で侵入奇胎の治療のためにメソトレキセート筋注療法を行った方の年齢、体重、腎機能、治療回数、口腔粘膜炎の発現状況とその程度、使用した予防薬・治療薬等について、電子カルテを用いて過去の情報を調査します。

研究のために検査を追加するなど、患者さんの負担になるようなことは行いません。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療情報：年齢、体重、腎機能、治療回数、使用した口腔粘膜炎の予防薬・治療薬 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

しかしながら解析終了後または学会・論文での発表後には、データを削除できないことがあります。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学医学部附属病院 薬剤部 石澤歩実

住所 名古屋市昭和区鶴舞町 65

電話 052-741-2111 (内戦 5333)

研究責任者：名古屋大学医学部附属病院薬剤部 山田清文